

鳥取県の拉致被害者等

発行:平成25年6月



■政府認定拉致被害者

- まつもと きょうこ
- ①**松本京子さん**(米子市出身、当時29歳):1977(昭和52)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明。

■拉致の可能性が指摘されている人

(注)特定失踪者問題調査会(民間団体)の公表資料による

- ふるいち みずこ
- ②**古都瑞子さん**:1977(昭和52)年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。
- やくら とみやす
- ③**矢倉富康さん**:1988(昭和63)年8月2日、一人で出漁して行方不明。元精密工作機械製作のエンジニアであった。
- うえだ えいじ
- ④**上田英司さん**:1969(昭和44年)11月4日、「京都に行ってくる」と下宿家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。

〔失踪位置図〕



拉致被害者 松本京子さんの事件

政府は、平成18年11月20日、「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律」に基づいて、米子市の松本京子さんを拉致被害者に認定しました。

(政府認定の拉致被害者としては、17人(12件)目。県内初。)



○失踪時の状況 - 特定失踪者問題調査会の調査より -

- 1977(昭和52)年10月21日午後8時頃、自宅近くの編み物教室に行くと言って自宅を出たまま行方不明。失踪時は、紺色のスカートとチョコキ・白色のブラウス・サンダル履きという普段着で、現金は所持していなかった。
- この日の夜、京子さんの自宅から約200メートル離れた家の人が、裏庭で京子さんと見知らぬ男が会話をしているのを目撃している。
- 男性は2人で、1人が京子さんと会話をし、もう一人は見張りをしているようだった。
- このとき、目撃者が「何をしている？」と男に声をかけると、1人が殴りかかり、額に縫うほどの怪我を負わせ、海岸の方向へ逃げている。
- 通報を受けた米子警察署が男2人を傷害の疑いで追ったが、捕捉できていない。

○失踪に係る不審な点

- 海の方に向かって、何人かの足跡が残されていた。 ・京子さんのサンダルが片方だけ残されていた。
- 当時、警察が不審な電波の交信を傍受していた。

拉致問題の主な動き

1970年代～80年代	多くの日本人が不自然な形で行方不明
1997年(平成9年)3月	北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(通称:家族会)発足
2001年(平成13年)3月	北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会(通称:救う会)が、松本京子さん等5名についての拉致の可能性を含めた再調査を警察庁に要請
2002年(平成14年)9月	第1回日朝首脳会談。北朝鮮は日本人の拉致をはじめて認めて謝罪
10月	5名の被害者が帰国
2003年(平成15年)1月	政府は拉致被害者支援法に基づく拉致被害者として15名を正式認定
2004年(平成16年)5月	第2回日朝首脳会談。拉致被害者の御家族5名が帰国
2006年(平成18年)11月	政府が、松本京子さんを拉致被害者として認定(17人目)
2008年(平成20年)6月	日朝実務者協議。北朝鮮が拉致問題は「解決済み」との立場を変更し、再調査を約束
8月	日朝実務者協議。北朝鮮がすべての拉致被害者の調査を秋終了を目標に行うことで合意
9月	北朝鮮が、日本の新政権の北朝鮮政策を見極めるまで調査委員会の設置を延期すると通告。
2011年(平成23年)12月	金正日総書記 死去
2012年(平成24年)4月	金正恩 朝鮮労働党第1書記に就任。
8月	日朝政府間協議(課長級予備協議)開催
11月	日朝政府間協議開催